

一般社団法人 鳥取県作業療法士会

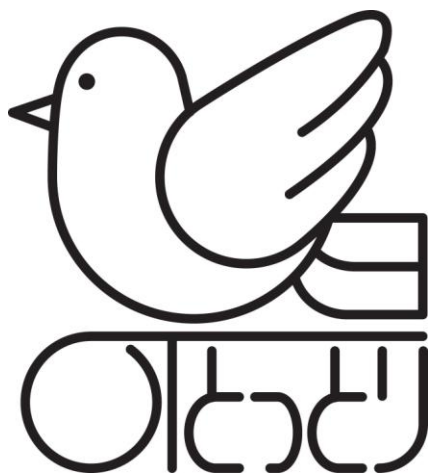
令和7年度 定時社員総会

議 案 書

期日：令和 7年 5月 25日（日） 10：00～11：00

会場：まなびタウンとうはく

（東伯郡琴浦町大字徳万266-5 TEL：0858-52-1111）



一般社団法人 鳥取県作業療法士会

事 務 局

〒683-0825 鳥取県米子市錦海町3-3-2

YMCA米子医療福祉専門学校内

TEL：080-2930-5010

MAIL：jimu@tottori-ot.or.jp

総 会 次 第

1. 開会のことば
2. 議 長 選 出
3. 会 長 挨 拶
4. 定 足 数 報 告
5. 書 記 任 命
6. 決 議 事 項
 - 第 1 号議案 令和 6 年度事業報告書承認の件
 - 第 2 号議案 令和 6 年度決算報告書承認及び監査報告の件
 - 第 3 号議案 役員改選（役員選出）の件
 - 第 4 号議案 その他
7. 報 告 事 項
8. そ の 他
9. 議長、書記解任
10. 閉会のことば

目 次

総 会 次 第	1
決 議 事 項	第 1 号議案 令和 6 年度事業報告承認の件	2
	事務局	2
	財務部	3
	規約委員会	4
	倫理委員会	4
	総会議事運営委員会	4
	選挙管理委員会	4
	広報部	5
	事業部	6
	学術部	7
	教育部	8
	地域包括ケアシステム委員会	10
	認知症・メンタルヘルスケア推進委員会	13
	こども発達支援推進委員会	14
	その他	14
	第 2 号議案 令和 6 年度決算報告書承認及び監査報告の件	15
	財産目録	16
	貸借対照表	16
	令和 6 年度決算書	17
	正味財産増減計算書	24
	監査報告書	26
	第 3 号議案 役員改選（役員選出）の件	27
	第 4 号議案 その他	27
報 告 事 項	令和 7 年度事業計画及び予算	
	事務局	28
	財務部	28
	規約委員会	29
	倫理委員会	29
	総会議事運営委員会	29
	選挙管理委員会	29
	広報部	29
	事業部	30
	学術部	30
	教育部	31
	地域包括ケアシステム委員会	32
	認知症・メンタルヘルスケア推進委員会	33
	こども発達支援推進委員会	33
	令和 7 年度予算書	35

第1号議案 令和6年度 事業報告書承認の件

令和6年度 事業報告

【管理運営部門】

◎ 事務局

1. 会議の開催

- (1) 令和6年度定時社員総会：令和6年5月19日(日) まなびタウンとうはく
- (2) 理事会：令和6年4月20日(土) 令和6年5月19日(日) 令和6年7月13日(土)
令和6年9月28日(土) 令和6年11月23日(土) 令和7年1月18日(土)
令和7年3月2日(日) / 計7回開催
- (3) 事務局会議：メール等での連絡のみで業務遂行実施できたため、会議の開催はなし
- (4) 三役会議：令和6年4月8日(月) / 計1回開催

2. 会員管理

(1) 会員の入退会管理

入退会状況(令和7年3月31日現在)

会 員 数					異 動 届		
正会員	自宅	休会	入会	退会	勤務先変更	転出	転入
537名	24名	3名	19名	31名	24件	5件	2件

※うち23名、会費未納による退会

- (2) 賛助会員への対応：R6年度賛助会員なし
- (3) 入会促進活動：2月末に県内養成校(2校)へ入会案内と入会申込書を送付

3. 文書管理

(1) 内外文書の受取・保管(令和7年3月31日現在)

総数	会員	OT協会	他士会	行政(県・市)	その他県内団体	その他
209件	16件	14件	108件	7件	53件	11件

(2) 会員への情報配信(令和7年3月31日現在)

各部局からの連絡、ホームページ更新情報を会員へ一斉メール配信/16件

(3) 個人情報の保護に関すること：安全管理措置に関するチェックを7月・1月理事会で実施、事務局保管

4. 作業療法士に関する全国組織との連携

(1) 日本作業療法士協会

- ① 日本作業療法士協会令和6年度定時社員総会
令和6年5月25日(土)東京/鳥取県代議員(梅津清司郎、北山朋宏、小山雅之/3名)
- ② 協会長・都道府県士会長会議(年4回)
第1回 令和6年7月6日(土)Web開催/段敬史、永見忠志、北山朋宏
第2回 令和6年9月21日(土)ハイブリッド開催/永見忠志
令和6年9月22日(日)ハイブリッド開催/北山朋宏
第3回 令和6年11月23日(土)Web開催/段敬史、北山朋宏
第4回 令和7年3月2日(日)Web開催/ 段敬史、北山朋宏
- ③ 日本作業療法士会からのアンケート回答/1件
- ④ 協会員=士会員に向けて
協会と個人情報の取り扱いに関する覚書を締結、11月に協会と会員情報の突合作業を実施

5. 関係機関との渉外、連携・調整に関わること

(1) 会長活動

- ① 養成校への入学式・卒業式出席および祝電の送付
入学式：祝電/YMCA 米子医療福祉専門学校(4/2 段会長出席)、鳥取市医療看護専門学校
卒業式：祝電/YMCA 米子医療福祉専門学校(3/6 永見副会長出席)、鳥取市医療看護専門学校
- ② 関係機関との会議出席
組織力強化を目指す各都道府県士会と協会の役職者意見交換会：令和6年7月18日(木)
/ 段敬史、永見忠志、北山朋宏、田住秀之、土井宣幸、菊本理恵

鳥取県理学療法士会設立 50 周年記念式典：令和 6 年 9 月 7 日(土)米子市／段敬史
 東部広域行政管理組合障害者総合支援審査会連絡調整会議：令和 6 年 12 月 11 日(水)／原田伸吾
 鳥取県国民医療推進協議会総会：令和 6 年 12 月 17 日(火)鳥取市／永見忠志（代理出席）
 リハビリテーションの未来を語る会：令和 6 年 12 月 28 日(土)米子市／永見忠志、北山朋宏

(2)鳥取県社会福祉協議会

研修企画委員会委員推薦：中島直（尾崎病院）

研修講師推薦：高次脳機能障害／井尾政美（三朝温泉病院）

高齢者と楽しむレクリエーション／東部；坂本一郎（さとに田園クリニック）
 オンライン；本多政志（老健すこやか）
 西部；金山雄気（仁風荘）

(3)県内市町村等への介護認定審査会・障害区分認定審査会委員の推薦

東部広域行政管理組合障害者総合支援審査会委員：逸見美樹（鳥取医療センター）

6. その他法人の管理運営に関すること

(1)法人市民税・県民税：減免申請手続きを行い、令和 5 年度分全額免除

(2)会員、他県士会、他団体等からの問い合わせ対応：随時対応／10 件

(3)弁護士への相談：協会員＝士会員への対応について随時メールにて相談

(4)法令、制度変更に伴う書類等の見直し：関連する制度変更等がなかったため、見直し書類等なし

7. 追加事項

(1)役員変更に伴う諸手続き：役員 1 名の辞任に伴い、役員の変更登記申請を行った

(2)日本海新聞リレーコラム

担当記者からの依頼にて、令和 6 年 8 月～翌年 7 月まで毎月会員のコラムを掲載することとなった。
 事務局で原稿等の調整、最終確認などの対応を行った。

令和 6 年 8 月	作業療法士の仕事（PT・OT の違い）	北山朋宏（錦海リハビリテーション病院）
令和 6 年 9 月	作業療法士の仕事（MTDLP の視点）	土井宣幸（介護老人保健施設はまかぜ）
令和 6 年 10 月	認知症関連の作業療法	岡野元明（株式会社ライオンハート）
令和 6 年 11 月	子育てとの両立	小山久美子（済生会境港総合病院）
令和 6 年 12 月	作業療法士の視点（学会案内）	梅津清司郎（YMCA 米子医療福祉専門学校）
令和 7 年 1 月	身体障害領域の作業療法	三上将史（山陰労災病院）
令和 7 年 2 月	行政関連の作業療法	長田啓（株式会社つむぎ）
令和 7 年 3 月	地域関連の作業療法（聴覚障害支援）	菊本理恵（YMCA 米子医療福祉専門学校）

(3)会員の倫理問題事例への対応

令和 7 年 1 月 9 日、県内作業療法士の不同意わいせつでの逮捕報道を受け、当該作業療法士の会員歴を確認（当士会への所属歴なし）。日本作業療法士協会倫理委員会へ報告、協会員でもないことから協会三役、事務局、倫理委員会で情報共有を行った。

◎ 財務部

1. 会費徴収について

(1)会費徴収

①会員数：537 名（内休会中 3 名、納入後の退会者は含まず）

②会費納入者数：500 名（他県士会での納入、納入後の転出者含む）

③会費未納者数：31 名（休会中 3 名含まず）

④徴収率：93%

(2)未納者への督促

①ホームページへ案内や県士会ニュースへ未納者の会員番号（OT 協会）を掲載

②令和 7 年 1 月に会費未納者に対して督促状と振込用紙の送付を実施

2. ボランティア保険加入手続き

99 名の加入手続きを行った

3. 備品管理台帳の更新と各部備品の管理

各部から備品情報を収集し備品管理台帳を更新した

4. 予算事務に関する特記事項

特記事項なし

◎ 規約委員会

1. 会議開催（委員会）

第1回：令和6年12月26日

内容：施行規則の解釈内容の確認

◎ 倫理委員会

1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演

(1)期日：令和6年7月27日 11:10～12:40

(2)会場：琴浦町生涯学習センターまなびタウンとうはく

(3)講師：北山 朋宏氏（錦海リハビリテーション病院）

2. 相談への対応

(1)相談件数：0件

3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携

(1)一般社団法人日本作業療法士協会倫理委員会への報告はなし

4. 一般社団法人日本作業療法士協会主催意見交換会への出席

(1)期日：令和7年3月1日 13:30～15:40

(2)会場：ZOOM

(3)参加者：原田 伸吾（株式会社つむぎ）

◎ 総会議事運営委員会

1. 定時社員総会の議案書の作成。※議事録の作成（事務局）

2. 定時社員総会の開催

(1)期日：令和6年5月19日（日） 10:00～11:00

(2)会場：まなびタウンとうはく 研修室

(3)内容：令和5年度事業報告書承認

令和5年度決算報告書承認及び監査報告

令和6年度事業計画及び予算

(4)正会員総数：546名（令和5年4月1日現在）

出席正会員数：297名（会場出席28名、委任状出席269名）

総社員の3分の2の出席もあり、開催に対して影響はなかった。

議長：養和病院 山下 大輔氏

書記：養和病院 田中 卓氏、日野 祐樹氏

◎ 選挙管理委員会

1. 委員会開催（計2回）

(1)期日：令和5年12月19日、令和6年2月18日

(2)内容：委員会業務引継ぎ 令和7年度鳥取県作業療法士会役員候補者選挙準備

2. 選挙方法について検討

届け出、投票方法等について（ネット活用なども含め）

3. 鳥取県作業療法士会役員候補者選挙の公示

(1)役員候補者選挙の公示

①方法：鳥取県作業療法士会ホームページ掲載

②期間：令和7年1月25日～2月27日

立候補者：理事10名

(2)理事会報告

①立候補者結果報告

②定数を満たせず、理事会へ推薦者の要請報告（理事2～6名、監事2～3名）

【事業部門】

◎ 広報部

1. 士会ニュース

(1)発行回数 4回(6月:123号、9月:124号、11月:125号、翌2月:126号)

(2)運用に関して

日本郵便で普通郵便での郵送を実施。2024年10月1日の郵便料金の値上げにより、必要経費は約1割増した。紙媒体での会報誌を継続する方針となった。

2. 広報資料取り寄せ

(1)日本作業療法協会より

啓発活動に使用するパンフレット、ポストカード、グッズ(エコバッグ)などを取り寄せ(6月)

3. 啓発・広報活動

(1)啓発活動

①士会会員向け

i. 発信回数(年間):5件

ii. 運用に関して:情報発信は公式LINEを使用。

②県民向け

i. 第8回ボランティアフェスティバル(倉吉福祉センター 令和6年6月16日)

派遣者:梅津清司郎(YMCA米子医療福祉専門学校)、前田恵(倉吉病院)

内容:イベントの中で主に中高生を対象とした、職業紹介コーナーでの展示・体験。

作業バランスチェックを受ける体験や治療機器の使用体験などを実施した。

ii. 第36回全国健康福祉祭とっとり大会 ねんりんピックはばたけ鳥取2024 健康づくり教室

(弓ヶ浜公園 令和6年10月19日)

主催:厚生労働省、鳥取県、(一財)長寿社会開発センター 共催:スポーツ庁

内容:来場者へのOQを使用した作業バランスチェックや協会資料を用いた広報活動。

ブースへの参加数は約50~60名。

派遣者:大西千香子(訪問看護リハビリテーションくらよし)、長田啓(株式会社つむぎ)、

河田修(野島病院)、竹内知仁(鳥取市医療看護専門学校)、田中圭介(株式会社つむぎ)、

藤田恵子(北栄町役場)、前田恵(倉吉病院)、松本周三(三朝温泉病院)

iii. 働く世代へのフレイル予防事業(株式会社つむぎ 令和7年2月21日)

※鳥取県からの令和6年度補助金対象の事業

内容:フレイル予防に繋がる健康寿命と労働寿命、そして生活に目を向ける作業や作業バランスについての講義、グループワーク、個人や企業へのフィードバック。参加者は20名。

派遣者:大西千香子(訪問看護リハビリテーションくらよし)、松本周三(三朝温泉病院)、

原田伸吾(株式会社つむぎ)、長田啓(株式会社つむぎ)、下石勝哉(株式会社つむぎ)、

飯橋凌子(株式会社つむぎ)

③啓発グッズの作製

グッズの選定とデザイン案作製の検討が進行中。

4. 広報媒体の管理・運用

(1)鳥取県作業方法士会ホームページ(<https://tottori-ot.or.jp/>)

(2)SNS

広報部管理アカウント 公式LINE、X(旧Twitter)、Google

公式LINEは現在フリープラン(月200通まで)。令和7年2月時点で登録数193名。

現状は最大月1回の配信。登録数が200名を超えれば有料プランについて検討予定。

5. 日本作業療法士協会との連携

今年度は実施なし。

6. その他

啓発活動に関連した打ち合わせを以下の通り実施。すべてZoomにて開催。

第1回打ち合わせ:2024年6月6日 3名参加。

第2回打ち合わせ:2024年12月11日 6名参加。

第3回打ち合わせ:2025年2月16日 5名参加。

◎ 事業部

1. 総会後研修会（参加者 34名）

(1)期日：令和6年5月19日（日）

(2)会場：「まなびタウンとうはく」とWebのハイブリット形式

(3)内容：①鳥取JRATについて。震災対応でOTとしてできること、実際の活動内容の報告。

講師：平野正樹（錦海リハビリテーション病院）

北山朋宏（錦海リハビリテーション病院）

②こども発達支援推進委員の活動内容、士会としてOTとして活動していく上での現状と課題

講師：来間寿史（株式会社つむぎ）

②生涯教育制度について

講師：北山朋宏（錦海リハビリテーション病院）

2. 訪問リハ・地域リーダー会議

(1)期日：令和6年8月24日（土）

(2)開催方法：Web(Zoom)

(3)出席者：川上紘司（錦海リハビリテーション病院）

3. 中国地区作業療法士会合同研修会

(1)期日：令和5年10月5、6日（土、日）

(2)会場：「広島国保会館」とWebのハイブリッド形式

(3)内容：1日目セミクローズド研修

テーマ：法人運営に必要な個人情報保護や著作権保護の法的知識

講師：弁護士 甲斐野正行氏（広島メープル法律事務所）

2日目クローズド研修

テーマ：①会長会議 ②子供分野 ③災害支援 ④循環器病関係・対策

(4)参加者：段敬史（メディカ・サポート株式会社）、菊本理恵（YMCA 米子医療福祉専門学校）、

小山雅之（SOI STANCE）、平野正樹（錦海リハビリテーション病院）、西村純一（清水病院）、

亀田志保（こどものつむぎ2号）

4. 福祉用具相談支援システム合同業務連絡会

(1)期日：令和7年3月15日（土）

(2)開催方法：Web(Zoom)

(3)出席者：小山雅之（SOI STANCE）

5. 訪問リハビリテーション実務者研修会

(1)期日：令和7年3月9日（日）

(2)開催形式：Web(Zoom)

(3)参加者：川上紘司（錦海リハビリテーション病院）

(4)内容：「地域リハビリテーションに必要な他職種との協働の在り方～在宅リハビリに必要な連携のコツ～」

講演① 訪問診療の実際と、訪問リハビリテーションと訪問診療の連携

講師：佐々木修治氏（在宅ケアクリニック米子 院長）

講演② 薬剤師の在宅医療・地域医療への関わりについて～今後の多職種連携と職能発揮～

講師：松本恵吾氏（ことうら薬局 管理薬剤師）

講演③ さとに訪問看護・訪問リハビリの他職種連携～地域に選ばれるための事業所へ～

講師：川崎文恵氏（さとに訪問看護ステーション 管理者）

米井亮二氏（さとに訪問リハビリテーション 管理者）

6. 士会員への福利厚生

(1)内容：新入会員対象とした、士会主催研修会（現職者共通研修）の研修費補助を実施。

(2)結果：前期1名、後期5名、合計6名。

7. 第36回全国健康福祉祭とっとり大会 ねんりんピックはばたけ鳥取2024

(1)委嘱内容：鳥取県実行委員会、米子市実行委員会、米子市実行委員会常任委員会の委員として、各委員会への参加し、企画運営内容についての審議・承認を行なった。

(2)健康づくり教室へのブース出展

①期日：令和6年10月19日（土）

②会場：県立武道館（米子市）

③内容：大会開催期間中の健康づくり教室として参加。広報部の普及啓発キャンペーンの一環としてブース展示を実施。ブース来場者数50名。

◎ 学術部

1. テーマ別勉強会

(1)開催状況

地区	テーマ別勉強会	開催回数	決算額（円）
東部	東部地区全般勉強会	2	5,000
東・中部	特別支援教育（東部・中部）※	3	0
中部	中部精神科勉強会	0	0
	中部地区合同勉強会	0	0
西部	西部精神科勉強会	0	0
	西部福祉用具・住環境勉強会	0	0
	CVA 勉強会	2	0
	作業を考える会	0	0
	特別支援教育（西部）※	0	0
総計		7	5,000

※特別支援教育は現在、「東部・中部」「西部」と分かれているがZoom利用で実質合同で実施している

2. 第20回鳥取県作業療法学会

(1)会期：2024年12月22日（日）

(2)会場：エースパック未来中心

(3)内容：

①学会テーマ「Re: Connect-あなたは何とつながりますか?」

②学会長講演：梅津清司郎（YMCA 米子医療福祉専門学校）

③特別講演：「作業療法士は人・環境・作業の関係を捉えているのかー専門性とアイデンティティの強化に向けてー」 藪脇健司 氏（東北福祉大学 健康科学部 教授）

④シンポジウム「地域と connect するための実践」

シンポジスト：坂本一郎（さとに田園クリニック）、藤田恵子（北栄町役場）、鎌田亜希（SOI STANCE）

コメンテータ：藪脇健司 氏（東北福祉大学）・梅津清司郎（YMCA 米子医療福祉専門学校）

座長：松本周三 氏（三朝温泉病院）

⑤一般演題：11 演題…口述 4 演題、ポスター 7 演題（ポスターの内ファーストトライ枠 5 演題）

口述発表座長：村瀬良知 氏（よなご脳神経クリニック）

⑥繋がるアート展：一般市民への開放

⑦デジリハ体験ブース：一般市民への開放

⑧託児所開設：2名預かり

(4)参加者情報：参加者数（申し込み人数）：106名

内訳：作業療法士 80名（県士会員 73名、中国 4 県 5 名、他県士会 1 名、非会員 1 名）

学生 18 名（YMCA 米子、鳥取医療看護）

一般 8 名

(5)実行委員：

学会長 梅津清司郎（YMCA 米子医療福祉専門学校）

実行委員長 幸田 真（倉吉病院）

副実行委員長 松本周三（三朝温泉病院）

広報・接待 門脇翔子（大山リハビリテーション病院）

広報・接待 前田 恵（倉吉病院ダイケア）

会場 河口皓一（倉吉病院）

会場	山本未来（錦海リハビリテーション病院）
学会誌/演題	竹田佳弘（藤井政雄記念病院）
学会誌/演題	中村貴紀（三朝温泉病院）
学会誌	足立万由子（アロハデイサービスあずま園）
会計	清山 茜（三喜苑）
学術部長/会計	高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）

3. 第21回鳥取県作業療法学会

(1) 学会長および実行委員の選出：※事業計画に掲載

(2) 実行委員会：第1回実行委員会（2025年2月13日 YMCA 米子医療福祉専門学校・Zoomにて）

4. 査読委員会：第1回査読委員会（2024年5月20日（月）、Zoomにて）

5. 日本脳卒中医療ケア従事者連合

2024年9月10日（火）17:00-19:00 第1回日本脳卒中医療ケア従事者連合事業報告会へのWeb参加

6. 学会運営に関わる人材発掘のための仕組みづくりの構築（人材バンク）

2回先までの学会の学会長・実行委員長候補は探せている。人材発掘は今後要検討。

◎ 教育部

1. 生涯教育制度に関する管理

(1) 生涯教育履修状況の管理－生涯教育履修リスト更新

県士会名簿更新時、基礎研修開催時、事務局からの連絡時等に随時実行. 認定OT14名

(2) 基礎研修ポイント管理・発行

① 士会裁量基礎研修ポイント集計・発行

② 現職者共通研修会ポイント発行

③ 現職者選択研修会ポイント発行

④ 臨床実習指導者講習会ポイント発行

⑤ 鳥取県作業療法学会ポイント発行

⑥ 基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行

2. 生涯教育制度に関する開催

(1) 現職者共通研修会

期日と会場	区分	テーマ	講師	認定数
① 前期 7月27日（土） まなびタウン	I	作業療法生涯教育概論	川上 紘司：錦海リハ病院	8
		職業倫理	北山 朋宏：錦海リハ病院	8
	III	作業療法における協業・後輩育成	田住 秀之：YMCA米子	12
		保健・医療・福祉と地域支援	長谷川 徹：はまなす	12
② 後期 10月13日（日） YMCA米子医療	II	作業療法の可能性	光島 宏美：江府町役場	11
		事例報告と事例研究	梅津清司郎：YMCA米子	12
	IV	日本と世界の作業療法の動向	藤田 恵子：セラトピア	7
		実践のための作業療法研究	高梨 悠一：YMCA米子	7

(2) 現職者選択研修会（老年期）

期日と会場	テーマ	講師	参加者
10月13日（日） Web開催	老年期の基礎知識	梅津 清司郎 YMCA 米子医療専門学校	19
	老年期作業療法の治療的枠組み	村瀬 良知 よなご脳神経クリニック	
	地域生活を支援する	鬼木 徳子 介護老人保健施設やわらぎ	
	作業療法実践トピックス	仲田 奈生 YMCA 米子医療専門学校	

(3) 臨床実習指導者講習会

期日	2025年1月11日(土)～12日(日)
会場	YMC A米子医療福祉専門学校
参加者	22名
講師及びファシリテーター	10名

3. 生涯教育に関する研修会等の認定

- (1) 現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会教育部員が「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定。学術部員がホームページ掲載依頼）

地区	テーマ名	件数 (前年度)
東部	全 般	0(0)
中部	中部合同	0(0)
	精 神 科	0(0)
西部	作業を考える	0(0)
	C V A	1(2)
	社会資源	0(0)
	治療演習ADL分析	0(0)
	精 神 科	0(0)
計		1(2)

- (2) 基礎研修会認定（テーマ別勉強会教育部員が申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）

- (3) SIG等登録認定（SIGとして認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）なし

4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者

- (1) 生涯教育制度推進担当者会議出席 5月1日（Web会議）、1月11～12日（東京）参加：北山朋宏
・ 新生涯学修制度について情報を得た。

5. 会員への情報伝達

(1) 県土会ニュースへの掲載

- ・ 前期現職者共通研修会（Ⅰ・Ⅲ）のご案内
- ・ 後期現職者共通研修会（Ⅱ・Ⅳ）のご案内
- ・ 現職者選択研修会（老年期領域）のご案内
- ・ 令和6年度の臨床実習指導者講習会についてのアンケート
- ・ 臨床実習指導者講習会のご案内
- ・ 新生涯学修制度の大方針について

(2) ホームページへの掲載

- ・ 前期現職者共通研修会（Ⅰ・Ⅲ）のご案内
- ・ 後期現職者共通研修会（Ⅱ・Ⅳ）のご案内
- ・ 現職者選択研修会（老年期領域）のご案内
- ・ 臨床実習指導者講習会のご案内

6. 他部との連携・協力

- (1) 学術部：鳥取県作業療法学会、テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など
 (2) 事業部：訪問リハビリテーション実務者研修会など
 (3) 特設委員会：士会主催研修会など
 (4) 事務局：会員管理事務など

7. 生活行為向上マネジメント

1) 令和6年度鳥取県地域医療介護総合確保基金

介護予防の推進に資する OT, PT, ST 指導者育成事業、生活行為向上マネジメント啓発事業

補助金合計：¥640,000

2) 会議の開催

(1) 定期委員会

第1回：令和6年4月16日 第2回：令和6年6月20日 第3回：令和6年8月20日
第4回：令和6年11月20日 第5回：令和7年1月22日 第6回：令和7年2月18日
第7回：令和7年2月25日

(2) 研修会前 ZOOM 事前練習

令和6年8月28日

3) 出張派遣

(1) 会議出張

① 生活行為向上マネジメント全国推進会議 (WEB)

第1回：令和6年8月8日

参加者：土井宣幸（はまかぜ）、松本周三（三朝温泉）、清水里江子（尾崎病院）
中村貴紀（三朝温泉）

第2回：令和6年12月9日

参加者：土井宣幸（はまかぜ）、松本周三（三朝温泉）、高橋博子（藤井政雄記念病院）
鬼木徳子（やわらぎ）、竹谷豊（のじま）

② 中国ブロック MTDLP 協議会 (WEB)

第1回：令和6年6月27日

参加者：土井宣幸（はまかぜ）、松本周三（三朝温泉）、高橋博子（藤井政雄記念病院）
鬼木徳子（やわらぎ）、中村貴紀（三朝温泉）、竹谷豊（のじま）

第2回：令和6年12月10日

参加者：土井宣幸（はまかぜ）、松本周三（三朝温泉）、高橋博子（藤井政雄記念病院）
鬼木徳子（やわらぎ）、清水里江子（尾崎病院）、竹谷豊（のじま）

第3回：令和7年2月13日

参加者：土井宣幸（はまかぜ）、松本周三（三朝温泉）、高橋博子（藤井政雄記念病院）
鬼木徳子（やわらぎ）、清水里江子（尾崎病院）、中村貴紀（三朝温泉）
竹谷豊（のじま）

4) 県内研修会

(1) 令和6年度 第1回 MTDLP 研修会 (WEB 研修)

日時：令和6年7月7日 9:00～12:30

場所：ZOOM

参加者：参加者：10名

(2) 令和6年度 第2回 MTDLP 研修会 (WEB 研修)

日時：令和6年9月1日 9:00～16:50

場所：ZOOM

参加者：参加者：9名

(3) 令和6年度 第3回 MTDLP 研修会 (WEB 研修)

日時：令和7年2月9日 9:00～12:30

場所：ZOOM

参加者：参加者：8名

◎ 地域包括ケアシステム委員会

1. 令和6年度鳥取県地域医療介護総合確保基金申請

地域包括ケアシステム研修会2回・運転と作業療法研修会2回

こども発達支援推進委員会研修会2回（事業実施はこども発達支援推進委員会）

2. 研修会開催

(1) 地域包括ケアシステム人材育成研修会

① テーマ：地域包括ケアシステムの基礎と実践

～作業療法士が目指す地域包括ケアシステムへの参画～

② 開催日：令和7年2月22日（土曜日）9:00～12:00

- ③講 師：よなご脳神経クリニック 村瀬 良知 氏
株式会社つむぎ 原田 伸吾 氏
錦海リハビリテーション病院 平野 正樹 氏

- ④内 容：地域包括ケアシステムの概要と日本作業療法士協会及び鳥取県作業療法士会の
目標と動向について
：地域共生社会、重層的支援体制整備事業、総合事業、高齢者の保健事業と介護
予防の一体的実施の概要と取り組みの紹介
：災害支援について

⑤参加者：14名

(2) 地域包括ケアシステム大研修会

- ①テーマ：「短期集中予防事業（C型事業について）
②開催日：令和6年10月5日（土曜日）9:00～12:00
③講 師：鳥取市役所 山口 里佳 氏
米子市理学療法士 松田 理咲 氏
株式会社つむぎ 原田 伸吾 氏

- ④内 容：市町村職員による短期集中予防事業についての講義
：当事者による事例紹介

⑤参加者：22名

(3) 運転と作業療法研修会（運転支援基礎編）

- ①テーマ：運転再開の基礎知識と失語症の方の運転再開支援について学ぼう
②開催日：令和7年2月15日（土曜日）9:00～12:00
③講 師：尾崎病院 中島 直 氏
錦海リハビリテーション病院 原田 あゆみ 氏

- ④内 容：運転再開の基礎知識、東部地区の運転再開支援の取り組み
：症例報告①（全失語の事例）
：症例報告②（運動失語の事例）
：グループワーク

⑤参加者：10名

(4) 運転と作業療法研修会（地域移動支援編）

- ①テーマ：移動と移動をつなぐ支援
～公的機関とのコラボレーション！！地域移動支援のポイントを学ぼう～
②開催日：令和6年8月24日（土曜日）9:00～12:00
③講 師：米子市総合支援部交通政策課 足立 達弥 氏
米子市フレイル対策推進課 小椋 善文 氏

- ④内 容：移動と移動をつなぐ支援
：フレイル予防の視点から考えられる地域移動支援の課題と展望
：グループワーク（地域移動支援について、公的機関に求めること、療法士に求めること）

⑤参加者：9名

3. 災害時対応マニュアルの作成協議

(1) 日本作業療法士協会災害シミュレーションの実施

鳥取作業療法士会理事、災害対策委員を対象に実施
第1報を9/25、第2報（2週間経過状況）10/9、第3報（1ヶ月経過状況）10/25
最終結果を日本作業療法士協会へ報告

(2) 会員の安否確認方法、連絡・報告系統作成の検討

大規模災害時の安否確認・周囲の被災状況の確認については、日本作業療法士協会災害シミュレーションを基盤に会員に対してグーグルフォームを使用して情報収集し日本作業療法士協会等へ報告

(3) 災害時マニュアルの作成検討

中国地区作業療法士会合同研修会出席 10/6 平野
鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県と災害マニュアルの作成について協議。
他県士会の災害マニュアルを参考に作成検討中

(4)多団体との災害時連携の確認 (POST・JRAT など)

2024 年度士会－協会災害情報交換会出席 10/26 平野 藤田

(5)令和 6 年能登半島地震に対する義援金活動

受付期間：令和 6 年 4 月～令和 7 年 2 月 28 日

義援金総額：10,645 円

義援金送付先：公益社団法人石川県作業療法士会

4. 地域包括ケアシステム協力体制の整備推進

県内各市町村に担当作業療法士の配置推進 14 市町村/19 市町村に対して会員より内諾一部の役場・包括支援センター職員へあいさつ回り、パンフレットの配布を行った。

5. パンフレット・フレイル予防啓発チラシの見直しと管理

フレイル予防についてのチラシを一部修正 市町村事業などで試験的に配布した。

6. 担当者会議

(1)地域包括ケア委員会・災害対策部・運転と作業療法委員会・市町村会議等

全県委員会 4 月 26 日 5 月 30 日 8 月 7 日 11 月 28 日

東中部地区委員会 6 月 18 日 7 月 30 日 9 月 11 日 10 月 4 日 11 月 22 日

西部地区委員会 6 月 11 日 7 月 12 日 10 月 22 日 11 月 13 日

地域事業支援会議 7 月 20 日 10 月 5, 6 日 3 月 9 日

Eブロックミーティング 8 月 6 日 10 月 11 日 3 月 14 日

災害対策部会 5 月 13 日

運転と作業療法全県委員会 6 月 18 日, 12 月 26 日

東部地区運転と作業療法委員会 5 月 31 日 8 月 23 日 10 月 26 日

地域・職場での予防・健康づくりを目的とした保健活動を推進するための研修 10 月 5 日

「米子市まちづくりビジョン」改定に係る市長との意見交換会 11 月 5 日

米子市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会 11 月 5 日 2 月 4 日

米子市地域包括支援センター運営委員会 6 月 26 日

がいなケア会議 10 月 1 日

(2)委員メンバー選出

委員長：永見忠志 (皆生温泉病院)

副委員長：平野正樹 (錦海リハビリテーション病院)

東部委員：責任者 原田伸吾 (デイサービスつむぎ)

大淵賢一 (鳥取赤十字病院)、藤原礼奈 (鳥取赤十字病院)

涌島恵理 (鳥取療育園)、長田 啓 (デイサービスつむぎ)

谷本卓也 (八頭町社会福祉協議会)

中部委員：責任者 藤田恵子 (北栄町役場)

三浦純 (三朝温泉病院)

西部委員：責任者 村瀬良知 (よなご脳神経クリニック)

加藤淳美 (サンライズ名和)、三上将史 (山陰労災病院)

笠原瑠奈 (山陰労災病院)

災害対策：責任者 平野正樹 (錦海リハビリテーション病院)

藤田恵子 (北栄町役場)、永見忠志 (皆生温泉病院)

自動車運転研修会企画・実施メンバー

責任者兼西部地区委員長 岩崎大輔 (養和病院)

西 部 神門博美 (鳥取大学病院)、河場航 (山陰労災病院)

原田あゆ美 (錦海リハビリテーション病院)、中尾浩之 (博愛病院)

門脇翔子 (山陰労災病院)

中部地区委員長 幸田真 (藤井政雄記念病院)

中 部 中村貴紀 (三朝温泉病院)、竹田佳弘 (藤井政雄記念病院)

樋口由紀子 (清水病院)

東部地区院長 坂尻信幸 (鳥取県立中央病院)

東 部 中島直 (尾崎病院)、福田哲也 (NH0 米子医療センター)

木下真実 (鳥取生協病院)、井上雅人 (鳥取県立中央病院)

◎ 認知症・メンタルヘルスケア推進委員会

1. 令和6年度地域医療介護総合確保基金

事業名：チームケアリーダー育成研修事業（総事業費：453,003円、助成額：404,000円）

2. 委員会開催

第1回：7月8日(月)

3. 認知症研修会

(1) 第1回認知症研修会【テーマA・B】

①日程：令和6年9月8日(日) 10:00～15:00/WEB

②講師：富永 美紀氏/富永ボンド氏(株式会社ボンドグラフィックス)

③内容：「つなぐ・つくる」認知症カフェを拠点とした地域づくり

④参加者：AM研修会22名 PMワークショップ34名

(2) 第2回認知症・メンタルヘルスケア研修会【テーマD】

①日程：令和7年12月8日(日) 9:30～12:30 講演・ワークショップ/対面

②講師：宮崎 宏興氏(NPO法人いねいぶる理事長)

③内容：つながりの中に身を置いて生きる～行政も住民もアングルを変えれば分け合える～

④参加者：44名(他職種・学生含む)

(3) 認知症研修会等修了状況(令和7年3月1日現在)

①認知症研修6テーマ受講修了者118名

4. 事業協力・派遣

(1) とっとり方式認知症予防プログラム普及啓発事業協力(研修会講師、教室講師)

①派遣者

田住 秀之、菊本 理恵、仲田 奈生、安井 和子(YMCA 米子)、作野 亘(さかい幸朋苑)、清山 茜(三朝温泉三喜苑)、安井 愛美(大山リハビリテーション病院)、門脇 翔子(山陰労災病院)、宮崎 亜希、福代 淳(さとに田園クリニック)、竹内 知仁(鳥取医療看護)、前田 恵(倉吉病院)、三上優里奈(やわらぎ)、鳥飼 桃子(つむぎ)

(2) 認知症初期集中支援チーム/チーム員会議(米子市、鳥取市)

①派遣者

作野 亘(さかい幸朋苑)、金山 雄気(養和病院)、坂本 一郎(さとに田園クリニック)、岡田 圭祐(ル・サンテリオン鹿野)、長田 啓(つむぎ)、清水 佳子(にしまち幸朋苑)、

(3) 若年認知症の人と家族の集い「にっこりの会」

①派遣者

岡野 元明(ライオンハート)、作野 亘(さかい幸朋苑)、菊本 理恵(YMCA 米子)、横尾 和也(渡辺病院)、清水 佳子(にしまち幸朋苑)、竹内 知仁(鳥取医療看護)、宮城 直子(自宅)、

(4) 西部ろうあ仲間サロン介護予防教室講師：菊本 理恵(YMCA 米子)

(5) 中部地区意見交換会：山根 七恵(倉吉病院)

(6) 米子市認知症施策を考える会：田住 秀之(YMCA 米子)

(7) RUNTOMO 鳥取

①日程：10月12日 西部地区、10月20日 中部地区/参加者：60人(後援16団体)

②実行委員：岡野 元明(ライオンハート)、高梨 悠一(YMCA 米子)、遠藤 慎治(野島病院)他

(8) OT協会制度対策部「士会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会」

①日程：令和6年12月8日(日) 13:00～16:00/Web

②派遣者：岡野 元明(ライオンハート)

(9) ひきこもり当事者と地域プラットフォームの協働に基づく社会システムの構築

①派遣者：田住 秀之(YMCA 米子)、菊本 理恵(YMCA 米子)

(10) 鳥取刑務所視察派遣

①派遣者：田住 秀之(YMCA 米子)、菊本 理恵(YMCA 米子)

5. 令和6年度認知症・メンタルヘルスケア推進委員会(14名)

(1) 委員長：田住 秀之(YMCA 米子)

(2) 西部委員：岡野 元明(ライオンハート/西部責任者)、高梨 悠一、菊本 理恵、仲田 奈生(YMCA 米子)
小竹 佳奈(江美の郷)、金山 雄気(養和病院)

- (3) 東部委員：横尾 和也(渡辺病院/東部責任者)、武信 祐哉(渡辺病院)
岡田 圭祐(ル・サンテリアン鹿野)
- (4) 中部委員：山根 七恵(倉吉病院/中部責任者)、山本 麻未(倉吉病院)、遠藤 慎治(野島病院)
竹内 知仁(鳥取医療看護)

◎ こども発達支援推進委員会

- 1. 学校作業療法に関する研修会
 - (1) センターの機能充実事業について
 - ①開催日：令和6年7月27日
 - ②会場：エースパック未来中心
 - (2) 作業療法士とLD等専門員が考える学校支援とは
 - ①開催日：令和7年1月26日
 - ②会場：エースパック未来中心
- 2. 勉強会（学術部テーマ別勉強会をバックアップする）
令和6年度は東・中・西部合同で3回オンラインで実施した。
- 3. 地域貢献
 - (1) 鳥取県筋ジストロフィー協会への参加
 - (2) 学校への作業療法士派遣を1校実施した
 - (3) センターの機能充実事業協力について鳥取県教育委員会への報告と提案
- 4. 委員会開催（11回）
 - (1) 研修会、勉強会の企画、振り返り
 - (2) 日本作業療法士協会の動向の情報共有
 - (3) 学校作業療法の展開に向けた協議

その他

第 2 号議案 令和 6 年度決算報告書承認及び監査報告の件

財産目録

貸借対照表

令和 6 年度決算書（全体）

令和 6 年度決算書（一般会計）

令和 6 年度決算書（特別会計）

正味財産増減計算表

財産目録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科目		金額		
資産の部	1.流動資産			6,944,404
	1)現金	60,000	60,000	
	2)普通預金	1,242,781		
	普通預金	39,873		
	普通預金	199		
	普通預金	35,295		
	普通預金	111,405		
	普通預金	146,993		
	普通預金	75,674		
	普通預金	183		
	普通預金	17,245		
	普通預金	213,849		
	普通預金	38,000		
	普通預金	39		
	郵便振替	4,962,868	6,884,404	
	郵便振替	0		
	3)立替金	0	0	
2.固定資産			705,000	
(1)特定資産				
1)啓発グッズ等積立預金	705,000	705,000		
資産合計			7,649,404	
負債の部	I.流動負債			126,546
	1)前受金	50,000	50,000	
	2)預り金	76,546	76,546	
	負債合計			126,546
	正味財産			7,522,858

鳥取県作業療法士会

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	6,944,404	【流動負債】	126,546
現金・預金	6,944,404	前受金	50,000
		預り金	76,546
【固定資産】	705,000	負債合計	126,546
(特定資産)	(705,000)	純資産の部	
啓発グッズ積立預金	705,000	【剰余金】	7,522,858
		啓発グッズ積立金	705,000
		繰越利益剰余金	6,817,858
		純資産合計	7,522,858
資産合計	7,649,404	負債・純資産合計	7,649,404

令和6年度決算書（全体）

自 令和 6年4月 1日
至 令和 7年3月31日

勘定科目			
大科目	予算額	決算額	差額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	2,700,000	2,540,000	160,000
研修会収入	375,000	284,855	90,145
補助金等の収入	1,990,069	1,990,069	0
雑収入	1,000	13,366	-12,366
事業活動収入合計(A)	5,066,069	4,828,290	237,779

(単位:円)

2. 事業活動支出			
(1) 管理運営部門			
	予算額	決算額	差額
事務局	789,000	460,195	328,805
財務部	185,000	174,340	10,660
規約委員会	4,000	1,500	2,500
倫理委員会	2,000	0	2,000
総会議事運営委員会	33,000	55,780	-22,780
選挙管理委員会	18,000	6,265	11,735
(2) 事業費支出			
広報部	462,000	388,668	73,332
事業部	472,000	182,795	289,205
学術部	540,000	662,035	-122,035
教育部	463,000	305,083	157,917
地域包括ケアシステム委員会	50,000	20,793	29,207
認知症・メンタルヘルスケア推進委員会	30,000	25,503	4,497
こども発達支援推進委員会	152,000	64,705	87,295
生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	684,273	684,273	0
地域包括ケアシステム研修事業	606,793	606,793	0
チームケアリーダー育成研修事業	699,003	699,003	0
事業活動支出計 (B)	5,190,069	4,337,731	852,338
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	-124,000	490,559	-614,559

勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
中 科 目				
Ⅱ 投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
啓発グッズ等積立預金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計 (D)	0	0	0	
2.投資活動支出				
啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000	50,000	0	郵便振替預金内に
投資活動支出計 (E)	50,000	50,000	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	-50,000	-50,000	0	
Ⅲ 予備費支出 (G)	200,000	0	200,000	
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	-147,177	440,559	-587,736	
前期繰越収支差額 (I)	6,377,299	6,377,299	0	
次期繰越収支差額 (J)=(H)+(I)	6,230,122	6,817,858	-587,736	

令和6年度決算書（一般会計）

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

勘定科目							備考
大科目	予算額	決算額	差額	小科目	予算額	決算額	差額
I 事業活動収支の部							
1. 事業活動収入							
会費収入	2,700,000	2,540,000	160,000	年会費	2,700,000	2,540,000	160,000
							5,000円×508名
研修会収入	375,000	284,855	90,145	第20回県学会	135,000	96,776	38,224
				現職者共通研修	40,000	38,274	1,726
				現職者選択研修	80,000	70,023	9,977
				臨床実習指導者講習会	120,000	79,782	40,218
							第20回鳥取県作業療法学会98名
							前/後期現職者共通研修79名
							現職者選択研修19名
							臨床実習指導者講習22名
補助金等の収入	0	0	0	助成金	0	0	
				賛助費	0	0	
雑収入	1,000	13,366	-12,366	雑収入	1,000	13,366	-12,366
							預金利息、学術航空券キャンセル返金
事業活動収入合計(A)	3,076,000	2,838,221	237,779				

2. 事業活動支出

(1) 管理運営部門

(単位:円)

	予算額	補正予算額	決算額	差額	勘定科目	金額	補正予算額	決算額	差額	備考
事務局	789,000	789,000	460,195	328,805	事務用品費	54,000	34,000	2,360	31,640	事務用品2,360円
					通信費	55,000	75,000	60,035	14,965	法人携帯使用料40,955円、ウイルス対策ソフト更新料17,760円 振込1,320円
					会議費	6,000	6,000	0	6,000	理事会会場費0円
					旅費 交通費	350,000	350,000	104,000	246,000	理事会交通費60,000円、代議員定時社員総会15,000円 48都道府県委員会22,500円、三役会議交通費2,500円 代表理事活動費1,000円、事務局業務3,000円
					需用費	25,000	25,000	1,000	24,000	48都道府県委員会昼食1,000円
					租税公課	10,000	10,000	10,000	0	法人登録税10,000円
					顧問料	264,000	264,000	264,000	0	弁護士顧問料(22,000円×12か月)
					負担金	10,000	10,000	10,000	0	48都道府県委員会会費10,000円
					福利厚生費	15,000	15,000	8,800	6,200	電報(祝電)等
財務部	185,000	185,000	174,340	10,660	事務用品費	5,000	5,000	3,309	1,691	事務用品
					通信費	33,000	33,000	36,105	-3,105	wifi通信料14,819円、会計ソフト代金12,133円、切手代/手数料9,153円
					旅費 交通費	20,500	20,500	19,000	1,500	監査4,500円、その他財務部業務12,000円(振込、納税) 税理士相談日当2,500円
					需用費	7,500	7,500	9,726	-2,226	監査昼食6,000円 監査、税理士手土産、委員会開催茶菓子代3,726円
					相談料	66,000	66,000	66,550	-550	税理士相談料、源泉税、手数料
					保険料	53,000	53,000	39,650	13,350	ボランティア保険350円×99名、手数料、賛助会員費
					事務用品費	1,000	1,000	0	1,000	
規約委員会	4,000	4,000	1,500	2,500	旅費 交通費	3,000	3,000	1,500	1,500	委員会交通費(500円×3名)
					事務用品費	1,000	1,000	0	1,000	
倫理委員会	2,000	2,000	0	2,000	通信費	1,000	1,000	0	1,000	
					事務用品費	1,000	1,000	0	1,000	
総会議事運営委員会	33,000	33,000	55,780	-22,780	事務用品費	2,500	2,500	775	1,725	ファイル、その他事務用品
					通信費	1,000	1,000	0	1,000	
					報償費	4,000	4,000	0	4,000	
					会議費	15,000	15,000	8,415	6,585	総会会場費(会場代、備品使用代)
					旅費 交通費	7,500	7,500	30,600	-23,100	総会・委員会交通費
					需用費	3,000	3,000	15,990	-12,990	総会昼食代、茶菓子
選挙管理委員会	18,000	18,000	6,265	11,735	事務用品費	2,500	2,500	0	2,500	
					会議費	0	0	0	0	
					旅費 交通費	10,500	10,500	6,265	4,235	定期委員会web日当、振込手数料
					需用費	5,000	5,000	0	5,000	

(2) 事業運営部門

(単位:円)

	予算額	補正予算額	決算額	差額	勘定科目	金額	補正予算額	決算額	差額	備考
広報部	462,000	462,000	388,668	73,332	事務用品費	20,000	20,000	0	20,000	
					通信費	40,000	40,000	8,140	31,860	ATM振込手数料
					需用費	300,000	300,000	264,508	35,492	県士会ニュース委託費/封入郵送
					ホームページ管理費	27,000	27,000	26,620	24,640	サーバーレンタル/ドメイン更新料
					旅費 交通費	70,000	70,000	89,400	-19,400	ねんりんピック協力日当、交通費 57,000円 倉吉社協協力 7,000円 企業のフレイル予防協力 25,400円
					予備費	5,000	5,000	0	5,000	
事業部	472,000	235,000	182,795	52,205	事務用品費	3,000	3,000	0	3,000	事務用品:0円
					通信費	2,000	2,000	628	1,372	納税・郵送費:628円
					報償費	8,000	4,000	3,592	408	総会後研修:講師謝礼3,592円
					旅費 交通費	339,000	101,600	104,565	-2,965	中国研修:宿泊費38,835円、ねんりんピック旅費6,020円 振込手数料550円 中国研修:日当39,000円(現地3名37,500円、Web3名1,500円) 中国研修:旅費14,660円 訪問リハ地域リーダー会議:Web会議日当2,500円 福祉用具相談支援事業日当、web日当3,000円
					需用費	1,000	5,400	4,010	1,390	中国研修:手土産代4,010円
					負担金	64,000	64,000	64,000	0	POST負担金:54,000円 中国研修:10,000円
					福利厚生費	50,000	50,000	6,000	44,000	研修会費補助:6,000円(教育部現職者研修6名参加費補助)
					予備費	5,000	5,000	0	5,000	
学術部	540,000	599,000	662,035	-63,035	事務用品費	15,000	15,000	2,061	12,939	事務用品2,061円
					通信費	4,000	4,000	6,604	-2,604	各種振込手数料6,604円
					報償費	99,000	125,000	120,350	4,650	講師旅費 56,250円、宿泊 16,000円、保育士2名14,000円、シンボ3名6,000円 特別講演報償費 24,500円、駐車代3,600円
					会議費	70,000	90,000	142,550	-52,550	会場費(前日・当日) 137,550円 講師打合せ会議費 5,000円
					旅費 交通費	113,000	114,000	187,920	-73,920	査読:委員web2,500円、部長宿泊費6,900円、 学会:委員年間、前日、当日旅費106,200円 講師送迎交通費12,320円、委員日当(12名)60,000円
					需用費	184,000	196,000	197,550	-1,550	銀行業務駐車代100円、委員茶菓子代10,885円、ポスター作成、封入6,168円 学会垂れ幕ポスター14,740円、表彰など備品32,977円 役員・委員前日夕食12,000円、学会当日昼食25,000円 垂れ幕日当5,000円、インカム代、発送料24,130円 花代16,500円、学会誌印刷50,050円
					勉強会活動費	50,000	50,000	5,000	45,000	勉強会活動費・研修会支援費5,000円
					予備費	5,000	5,000	0	5,000	

教育部	463,000	410,815	305,083	105,732	事務用品費	10,000	10,000	0	10,000	MTDLP:文房具、ファイル等
					通信費	2,000	2,000	0	2,000	振込み手数料 別途科目にて計上
					報償費	252,000	212,000	175,385	36,615	現職者共通研修講師48,000円(6,000円×8名) 選択研修講師24,000円(6,000円×4名)、手数料385円、旅費1,000円 事例報告指導6,000円(6,000円×1名) 臨床実習指導者講習:世話人謝礼金96,000円(10名)
					会議費	31,000	32,000	21,940	10,060	現職者共通研修:前期(東中)5,940円、後期(西)11,000円 臨床実習指導者研修会:0円 MTDLP:講師研修会会議費(5,000円×1名)
					旅費 交通費	70,000	55,000	48,490	6,510	事例報告500円、現職者共通(講師)前期東中部6,500円、後期西部6,000円 現職者選択(講師)Web、臨床実習交通費13,000円 教育部スタッフ:9,000円、手数料990円 生涯教育制度推進会議(Web):2,500円(2,500円×1回) 生涯教育制度推進会議参加:10,000円(東京2日間)
					需用費	93,000	94,000	58,453	35,547	現職者選択、臨床実習:昼食11,000円 臨床実習指導者研修:資料代22,000円(22名)、手数料495円 MTDLP:委員食糧費:24,958円
					予備費	5,000	5,000	0	5,000	
					返金	0	815	815	0	R6年度基金への返金済815円(県士会)
地域包括ケアシステム 委員会	52,000	52,648	20,793	31,855	通信費	2,000	2,000	880	1,120	teket手数料
					需用費	30,000	30,000	1,957	28,043	スタッフ茶菓子代
					会議費	20,000	20,000	17,308	2,692	講師会議費
					返金	0	648	648	0	R5年度基金への返金済648円(県士会)
認知症・メンタルヘル スケア委員会	30,000	30,714	25,503	5,211	需用費	30,000	30,000	24,789	5,211	委員食糧費、会議費24,569円 teket手数料220円
					返金	0	714	714	0	R6年度基金への返金済714円(県士会)
こども発達支援推進委 員会	152,000	152,000	64,705	87,295	事務用品費	10,000	10,000	110	9,890	事務用品110円
					通信費	20,000	20,000	0	20,000	
					報償費	49,000	49,000	0	49,000	
					会議費	10,000	10,000	0	10,000	
					旅費 交通費	53,000	53,000	55,000	-2,000	委員web日当47,000円、県教育web 2,000円 船岡小学校訪問旅費3,500円、日当2,500円
					需用費	10,000	10,000	9,595	405	研修茶菓子1,595円、スタッフ昼食8,000円
					県助成金事業	-	-	-	-	県助成金事業は特別会計内の地域包括ケアにて計上
事業活動支出計(B)	3,202,000	2,973,177	2,347,662	625,515						
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	-126,000	102,823	490,559	-387,736						

令和6年度決算書(特別会計)

自 令和 6年4月 1日
至 令和 7年3月31日

科 目	予算額	決算額	差額	
1. 事業活動収入				
鳥取県地域医療介護総合確保基金	1,800,000	1,800,000	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費 640,000 地域包括ケアシステム研修事業費 510,000 チームケアリーダー育成研修事業 650,000
研修会参加費	113,000	113,000	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業 13,500 地域包括ケアシステム研修事業 76,000 チームケアリーダー育成研修事業 23,500
負担金	77,069	77,069	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業 30,773 地域包括ケアシステム研修事業 20,793 チームケアリーダー育成研修事業 25,503
収入合計	1,990,069	1,990,069	0	

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差額	小科目	金額	積算内訳
2. 事業活動支出						
生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	684,273	684,273	0	報酬	38,000	【日当】38,000円(基金)
				報償費	212,000	【講師謝金】212,000円(基金)
				旅費	178,460	【委員会旅費】24,700円(基金) 【出張日当】72,500円(基金) 【研修旅費】81,260円(基金)
				需用費	48,997	【研修会講師食糧費】4,000円(基金) 【消耗品費】3,579円(基金) 【印刷製本費】11,460円(基金) 【講師茶菓子代】1,000円(県土会) 【研修会スタッフ食糧費】23,000円(県土会) 【スタッフ茶菓子代】958円(県土会) 【講師会議費】5,000円(県土会)
				役務費	6,441	【通信運搬費】330円(基金) 【手数料】6,111円(基金)
				使用および賃借料	23,375	【zoom使用料】23,375円(基金)
				備品購入費	0	
				返金	177,000	R6年度基金への返金済 815円(県土会) R6年度基金への返金済 176,185円(基金) R6年度基金への返金予定 0円(基金)
地域包括ケアシステム研修事業	606,793	606,793	0	報酬	116,500	研修スタッフ日当: 64,000円(基金) 研修派遣日当: 52,500円(基金)
				報償費	71,000	講師謝金: 71,000円(基金)
				旅費	236,820	講師旅費: 142,960円(基金) ・第1回発達研修会7,140円 ・第2回発達研修会135,820円 委員・スタッフ旅費: 93,860円(基金)
				需用費	43,970	食糧費: 21,265円 ・大研修会茶菓子代: 978円(県土会) ・大研修スタッフ茶菓子: 979円(県土会) ・第2回発達研修講師昼食2,000円(基金) ・大研修会会議費: 8,640円(県土会) ・第1回運転とOT会議費8,668円(県土会) 消耗品費: 3,957円(基金) 印刷製本費: 18,748円(基金)
				役務費	16,139	通信運搬費: 15,259円(基金) teket手数料: 880円(県土会)
				使用および賃借料	45,170	会場費: 45,170円(基金)
				返金	77,194	R5年度基金への返金済 648円(県土会) R6年度基金への返金予定 76,546円(基金)
チームケアリーダー育成研修事業	699,003	699,003	0	報酬	50,000	研修スタッフ日当20,000円(基金) 研修派遣日当30,000円(基金)
				報償費	93,000	講師謝金93,000円(基金)
				旅費	151,700	講師旅費89,900円(基金) 委員・スタッフ旅費34,700円(基金) 研修派遣旅費27,100円(基金)
				需用費	62,356	食糧費25,499円 ・講師昼食代930円(基金) ・講師打合せ会議費10,000円(県土会) ・委員昼食・夕食11,650円(県土会) ・講師茶菓子1,934円(県土会) ・研修茶菓子985円(県土会) 消耗品13,817円(基金) 印刷製本費23,040円(基金)
				役務費	33,847	通信運搬費26,577円(基金) 手数料7,270円 ・手数料7,050円(基金) ・手数料220円(県土会)
				使用および賃借料	62,100	会場費12,600円(基金) 研修機器使用料49,500円
				返金	246,000	R6年度基金への返金済 714円(県土会) R6年度基金への返金済 245,286円(基金) R6年度基金への返金予定 0円(基金)
事業活動支出計	1,990,069	1,990,069	0			
事業活動収支差額	0	0	0			

正味財産増減計算書

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収入		284,855	378,393	-93,538
	研修会収入	188,079	193,422	-5,343
	学会収入	96,776	134,971	-38,195
	その他の収入	0	50,000	-50,000
会費収入		2,540,000	2,600,000	-60,000
	正会員会費収入	2,540,000	2,600,000	-60,000
	賛助会員会費収入	0	0	0
補助金収入		1,990,069	1,762,426	227,643
	補助金収入	1,990,069	1,762,426	227,643
雑収入		13,366	15	13,351
	雑収入	13,366	15	13,351
経常収益計(A)		4,828,290	4,740,834	87,456

単位:(円)

勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
(2)経常費用				
①管理運営部門		698,080	944,021	-245,941
	事務局支出	460,195	508,719	-48,524
	財務部支出	174,340	374,467	-200,127
	規約委員会支出	1,500	1,500	0
	倫理委員会支出	0	0	0
	総会議事運営委員会支出	55,780	59,335	-3,555
	選挙管理委員会支出	6,265	0	6,265
②事業運営部門		3,639,651	3,287,879	351,772
	広報部支出	388,668	266,486	122,182
	事業部支出	182,795	209,035	-26,240
	学術部支出	662,035	610,091	51,944
	教育部支出	305,083	400,596	-95,513
	地域包括ケアシステム 委員会支出	20,793	31,618	-10,825
	認知症・メンタルヘルスケア 推進委員会支出	25,503	18,592	6,911
	子ども発達支援推進委員会	64,705	29,035	35,670
	生活行為向上マネジメント (リハビリテーション)啓発事業費	684,273	787,216	-102,943
	地域包括ケアシステム研修 事業	606,793	261,618	345,175
	チームケアリーダー 育成研修事業	699,003	673,592	25,411
経常費用計(B)		4,337,731	4,231,900	105,831
当期経常増減額(C)=(A)-(B)		490,559	508,934	-18,375
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益		(0)	(0)	(0)
経常外収益計(D)		0	0	0
(2)経常外費用		(0)	(0)	(0)
経常外費用計(E)		0	0	0
当期外経常増減額(F)=(D)-(E)		0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)		490,559	508,934	-18,375
一般正味財産期首残高(H)		7,032,299	6,523,365	508,934
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)		7,522,858	7,032,299	490,559
II 正味財産期末残高		7,522,858	7,032,299	490,559

監査報告書

令和7年4月13日

一般社団法人鳥取県作業療法士会
会長 段 敬史 様

一般社団法人鳥取県作業療法士会

監事 花倉 敏文



監事 江原 貴子



監事 小山 久美子



私たち監事は、令和6年度における鳥取県作業療法士会の事業を監査したので、その結果について以下の通り報告いたします。

I. 監査方法の概要

令和6年度に開催された理事会に出席し、事業の報告を聴取しました。また、令和6年度事業報告書、事業報告の附属明細書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計画書）、財産目録、貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計画書）の附属明細書、収支計算書を閲覧するとともに、執行状況を聴取するなど、必要な監査手続きを実施しました。

II. 監査の結果

1. 事業報告等の監査結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 業務の執行においても法令及び定款に従い、正しく遂行しているものと認めます。

2. 計画書類及びその附属明細書の監査結果

計画書類及びその附属明細書は、法人の状況を適正に表示しているものと認めます。

III. 監事の意見

令和6年度は日本海新聞のリレーコラム、小学校へのOT派遣、働く世代へのフレイル予防介入、ねんりんピックなどの新事業への取り組みや、福利厚生への導入、こども分野での研修会開催など士会の発展に向けて適正に事業活動を遂行されました。

また、昨年度に引き続き、地域支援・行政・教育・コンプライアンスへの対処、協会との連携など、幅広い分野で適正に事業が展開できたと考えます。

今後は、社会情勢や士会活動・運営に則した規約の見直しを行うとともに、引き続き繰越金の活用方法も含めた事業展開を期待します。

令和7年度においても、会員の皆様には会費納入をはじめ、法人からの依頼や要請事項につきまして速やかに対応いただき、また、研修会参加等自己研鑽に積極的に取り組んでいただき、法人の事業が迅速かつ円滑に遂行・発展できますことを望みます。

以上

第3号議案

1. 令和7年度理事会立候補者・推薦者

1) 立候補者（敬称略）

(1) 理事候補

株式会社つむぎ	原田 伸吾
YMCA 米子医療福祉専門学校	高梨 悠一
介護老人保健施設はまかぜ	土井 宣幸
YMCA 米子医療福祉専門学校	田住 秀之
錦海リハビリテーション病院	平野 正樹
錦海リハビリテーション病院	川上 紘司
SOI STANCE	小山 雅之
清水病院	西村 純一
錦海リハビリテーション病院	北山 朋宏
よなご脳神経クリニック	村瀬 良知

以上10名

(2) 監事候補

立候補者0名

2) 理事会選挙推薦候補者（敬称略）

(1) 理事候補

皆生温泉病院	永見 忠志
YMCA 米子医療福祉専門学校	菊本 理恵
株式会社つむぎ	来間 寿史
三朝温泉病院	松本 周三
皆生温泉病院	景山 直史
株式会社つむぎ	下石 勝哉

以上6名

(2) 監事候補

済生会境港総合病院	小山 久美子
大山リハビリテーション病院	安井 愛美
株式会社カルム	段 敬史

以上3名

令和7年度鳥取県作業療法士会 理事16名（定数12～16名）
監事3名（定数2～3名）
計19名選出

第4号議案 その他

令和7年度 事業計画

【管理運営部門】

◎ 事務局

1. 会議の開催

- (1) 令和7年度定時社員総会：令和7年5月25日(日)
- (2) 理事会：総会時含め年7回
- (3) 事務局会議
- (4) 三役会議

2. 会員管理

- (1) 会員の入退会管理
- (2) 賛助会員への対応：請求書の送付、連絡調整
- (3) 入会促進活動：県内養成校へ入会案内と入会申込書の送付

3. 文書管理

- (1) 内外文書の受取・保管
- (2) 会員への情報配信：事務局より登録いただいている会員メールアドレスへ適宜情報配信
- (3) 個人情報の保護に関すること：安全管理措置に関するチェック(年2回)の実施・保存

4. 作業療法士に関する全国組織との連携

- (1) 日本作業療法士協会
 - ① 日本作業療法士協会令和7年度定時社員総会：鳥取県代議員
 - ② 協会長・都道府県士会長会議(年3~4回)
 - ③ 日本作業療法士会からのアンケート回答
 - ④ 協会員=士会員に向けての情報共有と発信、定款・諸規定の見直し

5. 関係機関との渉外、連携・調整に関わること

- (1) 会長活動
 - ① 養成校への入学式・卒業式出席および祝電の送付
 - ② 関係機関との会議出席
- (2) 鳥取県社会福祉協議会：企画会議、研修講師推薦
- (3) 県内市町村等への介護認定審査会・障害区分認定審査会委員の推薦

6. その他法人の管理運営に関すること

- (1) 法人市民税・県民税：減免申請手続き
- (2) 会員、他県士会、他団体等からの問い合わせ対応：随時
- (3) 弁護士への相談：随時
- (4) 法令、制度変更に伴う書類等の見直し
- (5) 役員改選に伴う諸手続き
- (6) 日本海新聞リレーコラム掲載への対応

◎ 財務部

1. 会費徴収について

- (1) 会費徴収
- (2) 未納者への督促

2. ボランティア保険加入手続き

県士会事業に関わる会員のみ加入手続きを行う

3. 備品管理台帳の更新と各部備品の管理

4. 予算事務に関する特記事項

なし

◎ 規約委員会

1. 規約委員会の適宜開催
2. 施行則・規程内容の追加・修正、削除の作業及び問い合わせ
3. 各専門部との連携

◎ 倫理委員会

1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演
2. 相談への対応
3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携
4. 士会・協会倫理連携窓口の設置

◎ 総会議事運営委員会

1. 定時社員総会の議案書の作成。※議事録の作成（事務局）
2. 定時社員総会の開催
 - (1)期日：令和7年5月25日（日） 10：00～11：00
 - (2)会場：まなびタウンとうはく 研修室
 - (3)内容：令和6年度事業報告書承認
令和6年度事決算報告書承認及び監査報告
役員改選（役員選出）の件
令和7年度事業計画及び予算
 - (4)その他：議長選出、書記任命

◎ 選挙管理委員会

1. 委員会の開催
新委員への引継ぎ、マニュアルの確認
2. 選挙方法について検討
届け出、投票方法等について（ネット活用なども含め）

【事業部門】

◎ 広報部

1. 士会ニュース
 - (1)発行回数 4回（6月：127号、9月：128号、11月：129号、翌2月：130号）
 - (2)運用に関して
郵送先のデータ作成および管理について見直しの必要性の検討を実施。
2. 広報資料取り寄せ
 - (1)日本作業療法協会より
啓発活動に使用する媒体を適宜取り寄せ。
3. 啓発・広報活動
 - (1)啓発活動
 - ①士会会員向け：公式LINE等を使用した活動を実施。
 - ②県民向け：適宜イベント等への参加を実施。
 - ③啓発グッズの作製：グッズの選定とデザイン案作製を進める。
4. 広報媒体の管理・運用
 - (1)鳥取県作業方法士会ホームページ (<https://tottori-ot.or.jp/>)
 - (2)SNS
広報部管理アカウント 公式LINE、X（旧Twitter）、Google
5. 日本作業療法士協会との連携
開催があれば適宜対応する。

6. その他

啓発活動に関連した打ち合わせを適宜開催する。

◎ 事業部

1. 総会后研修会

- (1) 期日：令和7年5月25日（日）
- (2) 会場：エースパック未来中心（倉吉市）
- (3) 内容：未定

2. 訪問リハ・地域リーダー会議

3. 中国地区作業療法士会合同研修会

- (1) 期日：令和7年12月6、7日（土、日）
- (2) 会場：未定（山口県開催）
- (3) 内容：未定

4. 福祉用具相談支援システム合同業務連絡会

5. 訪問リハビリテーション実務者研修会

6. 士会員への福利厚生

- (1) 内容：新入会員を対象とした事業を実施予定。

◎ 学術部

1. テーマ別勉強会

- (1) 東部地区 1 テーマ 東部地区全般勉強会
- (2) 東・中部地区 1 テーマ 特別支援教育（東部・中部）
- (3) 中部地区 2 テーマ 中部精神科勉強会、中部地区合同勉強会
- (4) 西部地区 5 テーマ 西部精神科勉強会、西部福祉用具・住環境勉強会、CVA 勉強会、作業を考える会、特別支援教育（西部）

2. 第21回鳥取県作業療法学会

- (1) 会期：2025年12月21日（日）対面開催
- (2) 会場：米子市文化ホール（米子市末広町293）
- (3) 内容：
 - ① 学会テーマ：「作業療法の未来領域（Future Domains of Occupational Therapy）～多領域で描く新しい作業療法のかたち～」
 - ② 学会長講演：鎌田亜希（SOI STANCE）
 - ③ 特別講演：宮口英樹氏（高知健康科学大学 学長）その他予定
 - ④ イベント：現在調整中
 - ⑤ 一般演題：発表形式、演題数など調整中（事例登録としての発表も可能）
 - ⑥ 優秀演題表彰：2 演題程度

(4) 実行委員：

学会長	鎌田亜希（SOI STANCE）
実行委員長	小山雅之（SOI STANCE）
副実行委員長	仲田奈生（YMCA 米子医療福祉専門学校）
広報・接待	門脇翔子（山陰労災病院）
広報・接待	吉田倫子（錦海リハビリテーション病院）
会場	村瀬良知（よなご脳神経クリニック）
会場	山本未来（錦海リハビリテーション病院）
演題	村上英里（なんぶ幸朋苑）
学会誌	玉田美穂（介護老人保健施設はまかぜ）
会計/学術部長	高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）

(5) 実行委員会の開催：10 回程度

3. 第 22 回鳥取県作業療法学会（東部）
 - (1) 学会長の選出
 - (2) 実行委員会委員の選出
 - (3) 実行委員会の開催
4. 査読委員会
 - (1) 査読委員：池淵欽斗（米子病院）、松本周三（三朝温泉病院）、
宮脇淳（米子東病院）、平野正樹（錦海リハビリテーション病院）、
高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）
 - (2) 内容
 - ① 査読委員会の開催（年 2 回程度）
 - ② 査読者登録制度の作成（査読者の基準作成）
 - ③ 査読者の登録および管理
 - ④ 査読者の選定と査読依頼
 - ⑤ 査読結果の集約
（＊採択・不採択の最終判断は、学会長と査読委員長との協議で行う）
 - ⑥ 県学会演題採択に関する投稿規定作成および修正
5. 日本脳卒中医療ケア従事者連合（SCPA-Japan）
鳥取県支部担当者：射場靖弘（鳥取大学医学部附属病院）
6. 学会運営に関わる人材発掘のための仕組みづくりの構築（人材バンク）

◎ 教育部

1. 生涯教育制度に関する管理
 - (1) ホームページ「生涯教育制度について」更新
 - (2) 基礎研修ポイント管理・発行
 - ① 士会裁量基礎研修ポイント集計・発行
 - ② 現職者共通研修修了ポイント発行
 - ③ 現職者選択研修会ポイント発行
 - ④ 鳥取県作業療法学会ポイント発行
 - ⑤ 基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行
2. 生涯教育制度に関する開催
2025 年度より新生涯学修制度となるが、その対象は新会員（新卒者）なので、現会員は現行の生涯教育を受講することとなる。

(1) 現職者共通研修会
年 4 回の Zoom 開催とする。それぞれ 9:00～10:30、10:40～12:10 の 2 テーマずつの開催とする。

(2) 現職者選択研修会
2025 年鳥取県は精神領域を開催

期日と会場	テ ー マ	講 師
11 月 29 日 (土) Zoom 開催	精神障害作業療法の基礎知識	田住秀之：YMCA 米子医療福祉専門学校
	精神障害作業療法の展開方法	幸田 真：倉吉病院
	精神障害作業療法の実践	池淵欽斗：米子病院
	精神障害作業療法関連のトピックス	野口卓也：慈圭病院（岡山県）

(3) 臨床実習指導者講習会
年 1 回の開催予定

3. 生涯教育に関する研修会等の認定
 - (1) 現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会より「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定。学術部員がホームページ掲載依頼）
 - (2) 基礎研修会認定（テーマ別勉強会より申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）
 - (3) SIG 等登録認定（SIG として認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）

4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者
 - (1)生涯教育制度推進担当者会議会への出席
 - (2)生涯教育受講登録システムへの登録
5. 会員への情報伝達
 - (1)県士会ニュースへの掲載
 - (2)ホームページへの掲載
 - (3)その他
6. 他部との連携・協力
 - (1)学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など
 - (2)事業部：鳥取県作業療法学会、訪問リハビリテーション実務者研修会など
 - (3)領域対策部：現職者選択研修会など
 - (4)事務局：会員管理事務など
 - (5)特設委員会：士会主催研修会など
7. 生活行為向上マネジメント
 - (1)令和7年度鳥取県地域医療介護総合確保基金申請作業
 - (2)定期委員会（年7回）
 - ①生活行為向上マネジメント研修会 企画・運営
 - ②生活行為向上マネジメント研修カリキュラムの管理
 - ③生活行為向上マネジメント広報活動
 - ④生活行為向上マネジメント指導者養成

◎ 地域包括ケアシステム委員会

1. 令和7年度鳥取県地域医療介護総合確保基金申請作業

資質の向上 介護予防の推進に資する OT, PT, ST 指導者育成研修
総事業費 603,000 円に対し、交付決定額 523,000 円の補助金の申請
2. 研修会開催
 - (1)地域包括ケアシステム人材育成研修会（1回）
 - (2)地域包括ケアシステム大研修会（1回）
 - (3)令和5年度 運転と作業療法研修会 基礎編
 - (4)令和5年度 運転と作業療法研修会 代償手段編
3. 大規模災害時対応マニュアルの作成協議、災害リハビリテーションの人材育成
 - (1)日本作業療法士協会災害シミュレーションの実施
 - (2)会員の安否確認方法の検討
 - (3)災害時マニュアルの作成検討
 - (4)多団体との災害時連携の強化・確認（OT協会、各士会、JRATなど）
 - (5)災害対策研修会
4. 地域包括ケアシステム協力体制の整備推進

各市町村に対し、担当作業療法を配置
OT活用調査・各市町村の困りごと調査等の実施
市町村からの依頼に対する会員派遣体制整備
5. パンフレット・フレイル予防啓発チラシの見直しと管理
6. 担当国会議等
 - (1)地域包括ケアシステム委員会・災害対策部門委員会・運転と作業療法委員会
外部から依頼された会議
 - (2)委員メンバー
委員長：永見忠志（皆生温泉病院）
副委員長：平野正樹（錦海リハビリテーション病院）

- 東部委員：責任者 原田伸吾（デイサービスつむぎ）
藤原礼奈（鳥取生協病院）
長田 啓（デイサービスつむぎ）
谷本卓也（八頭町社会福祉協議会）
- 中部委員：責任者 藤田恵子（老健セラトピア）
三浦純（三朝温泉病院）
- 西部委員：責任者 村瀬良知（よなご脳神経クリニック）
加藤淳美（サンライズ名和）、三上将史（山陰労災病院）
門脇翔子（山陰労災病院）
- 災害対策： 平野正樹（錦海リハビリテーション病院）
藤田恵子（老健セラトピア）、永見忠志（皆生温泉病院）
- 自動車運転研修会企画・実施メンバー
- 責任者兼西部地区委員長 岩崎大輔（養和病院）
- 西 部 神門博美（鳥取大学病院）、河場航（山陰労災病院）
原田あゆ美（錦海リハビリテーション病院）、中尾浩之（博愛病院）
- 中部地区委員長 幸田真（藤井政雄記念病院）
- 中 部 中村貴紀（三朝温泉病院）、樋口由紀子（清水病院）
竹田佳弘（藤井政雄記念病院）
- 東部地区委員長 坂尻信幸（鳥取県立中央病院）
- 東 部 中島直（尾崎病院）、福田哲也（NH0 米子医療センター）
木下真実（鳥取生協病院）、井上雅人（鳥取県立中央病院）

◎ 認知症・メンタルヘルスケア推進委員会

1. 令和7年度鳥取県地域医療介護総合確保基金「チームケアリーダー育成研修事業」申請作業
2. 委員会開催(年5回)
 - (1) 研修会企画・運営・受講登録
 - (2) 認知症に関連する県内事業協力派遣調整
 - (3) 認知症支援・事業協力を携わる会員関与状況の把握
 - (4) 日本作業療法士協会との連携(士会における認知症への取組みを推進する担当者同士の情報交換会)
 - (5) 精神科の作業療法、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム、メンタルヘルスケア領域の動向把握
3. 研修会
 - (1) 認知症研修会2回、メンタルヘルスケアまたは事業協力における課題・地区課題に応じた研修会開催
 - (2) 期日：未定
 - (3) 会場：未定
4. 事業協力・派遣
 - (1) 認知症施策に基づく各種事業への派遣協力
 - (2) 認知症の人と家族の会、認知症初期集中支援チーム員会議、認知症施策検討委員会等への派遣協力
 - (3) 認知症支援に関する研修派遣・視察派遣
 - (4) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム、メンタルヘルスケアに関する取り組みの視察・派遣協力

◎ こども発達支援推進委員会

1. 学校作業療法に関する研修会
 - (1) 学校作業療法に活かす作業科学の基礎と応用（仮称）
 - ①開催日：令和7年7月27日（日）
 - ②開催方法：オンライン開催

(2) 学校作業療法に活かせるテーマで企画中

①開催日：未定

②開催方法：対面とオンラインのハイブリッド開催
会場未定

2. 勉強会

令和7年度は東・中・西部で学校作業療法チームを組織し、各エリアで勉強会・事例検討を実施する。

3. 地域貢献

(1) 鳥取県筋ジストロフィー協会への参加

(2) 学校への作業療法士派遣事業を県内全ての小学校に周知する。

(3) 5歳児健診事業に作業療法士活用をPRし、少なくとも1か所モデル地域に参画する。

4. 委員会開催

毎月開催から開催回数を減らす方向で検討していく

令和7年度予算書

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年3月31日

勘定科目			備考
大科目	予算額	小科目	金額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	2,700,000	年会費	2,700,000
研修会収入	465,000	第21回県学会	255,000
		現職者共通研修	40,000
		現職者選択研修	80,000
		臨床実習指導者講習会	90,000
補助金等の収入	0	助成金	0
		賛助費	0
雑収入	1,000	雑収入	1,000
事業活動収入合計(A)	3,166,000		預金利息

勘定科目		予算額	備考
中	科目		
II	投資活動収支の部		
	1. 投資活動収入		
	啓発グッズ等積立預金取崩収入	0	
	投資活動収入計 (D)	0	
	2. 投資活動支出		
	啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000	郵便振替預金内にて管理
	投資活動支出計 (E)	50,000	
	投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	△ 50,000	
III	予備費支出 (G)	200,000	
	当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	△ 203,000	
	前期繰越収支差額(I)	6,817,858	
	次期繰越収支差額(J)=(H)+(I)	6,614,858	

2. 事業活動支出

(1) 管理運営部門

(単位:円)

	予算額	勘定科目	金額	備考
事務局	780,000	事務用品費	45,000	事務用品15,000円(名刺、住民票、ファイル) 封筒作成費30,000円
		通信費	55,000	法人携帯使用料42,000円 切手・振込13,000円
		会議費	6,000	理事会6回 施設利用費(1,000円×6回)
		旅費 交通費	350,000	理事会交通費108,000円(1回18,000円×6回) 代議員定時社員総会日当10,000円 ※旅費は協会負担 48都道府県委員会200,000円 三役会議交通費10,000円 代表理事活動費10,000円 事務局業務7,000円 弁護士相談5,000円
		需用費	25,000	三役会議昼食10,000円 48都道府県委員会昼食5,000円 代表理事活動手土産9,000円 茶菓子代1,000円
		租税公課	10,000	法人登録税10,000円
		顧問料	264,000	弁護士顧問料(22,000円×12か月)
		負担金	10,000	48都道府県委員会会費10,000円
		福利厚生費	15,000	電報(祝電)等
		事務用品費	5,000	事務用品
財務部	194,000	通信費	39,000	wifi通信料15,000円、会計ソフト年料金15,000円、切手代(督促)7,000円、手数料
		旅費 交通費	20,500	監査3,500円、財務部業務10,000円、税理士相談時4,000円、納税3,000円
		需用費	10,500	監査昼食1,000円×6名 監査、委員会開催茶菓子代
		相談料	66,000	税理士相談料
		保険料	53,000	ボランティア保険350円×150名、手数料
		事務用品費	1,000	資料ファイル3冊
		旅費 交通費	3,000	委員会2回分として委員会交通費(500円×6名)
規約委員会	4,000	事務用品費	1,000	ファイル、その他必要な事務用品
倫理委員会	2,000	通信費	1,000	切手、送料、電話料金
		事務用品費	1,000	ファイル、その他事務用品
総会議事運営委員会	33,000	事務用品費	2,500	ファイル、その他事務用品
		通信費	1,000	
		報償費	4,000	総会リモートホスト謝金4,000円
		会議費	15,000	総会会場費(会場代、備品使用代)
		旅費 交通費	7,500	委員会7,500円(500円×5名)×3回分
		需用費	3,000	1000円×3回分
選挙管理委員会	18,000	事務用品費	2,500	ファイル、その他事務用品
		会議費	0	
		旅費 交通費	10,500	定期委員会開催(500円×7名)×3回分 ※選挙開催時臨時招集時:別途計上
		需用費	5,000	※選挙開催時:別途計上(選管5名+立会人2名700円×7名4,900円) ※選挙開催時:別途印刷費計上(70,000円予定)

(2) 事業運営部門

(単位:円)

	予算額	勘定科目	金額	備考
広報部	482,000	事務用品費	10,000	印刷費(依頼文書、チラシ等):5,000円 協会より資料取り寄せ費:2,000円 備品・消耗品購入(事務用品、整理ケースなど):3,000円
		通信費	20,000	ATM振込手数料:10,000円(500円×20件) 啓発活動に関わる郵送費:10,000円
		報償費	0	※報酬が発生する活動は未実施予定
		会議費	0	※オンライン開催を予定
		需用費	320,000	県士会ニュース委託費:印刷25,000円×4回、封入郵送50,000円×4回 啓発活動:20,000円(資料印刷、茶菓子など:5,000円×4回)
		ホームページ管理費	27,000	サーバーレンタル:21,120円、ドメイン更新料:5,500円
		旅費交通費	100,000	会議(WEB)交通費:10,000円(500円×20名分) 啓発活動交通費:30,000円(5名程度派遣×4回) 啓発活動日当:60,000円(半日5名程度派遣×4回)
		予備費	5,000	
事業部	388,000	事務用品費	3,000	事務用品:3,000円
		通信費	2,000	郵送費:2,000円
		報償費	6,000	総会後研修:講師謝礼6,000円
		会議費	0	
		旅費交通費	253,000	訪問リハ会議(5月):日当6,000円(Web会議2,500円+Web日当500円×2名) 中国研修:日当84,000円(5,000円×8名×2日間、Web日当500×4名×2日間) 中国研修:旅費80,000円(8名分) 中国研修:宿泊費80,000円(10,000円×8名) 福祉用具:3,000円(Web会議日当2,500、Web日当500)
		需用費	5,000	中国研修:手土産5,000円
		負担金	64,000	訪問リハ:54,000円 中国研修:10,000円
		福利厚生費	50,000	研修会費補助:参加費補助10,000円 交流ブース設置(茶菓子)10,000円 学会参加費補助:30,000円
学術部	599,000	事務用品費	15,000	事務用品10,000円、学会:5,000円
		通信費	4,000	郵送費2,000円、学会2,000円
		報償費	120,000	特別講演報償費 18,000円、講師旅費 80,000円(2名)、宿泊 20,000円(2名) 学術集会 座長旅費2,000円(4名)
		会議費	105,000	会場費(当日) 70,000円 会場費(前日) 20,000円、 会場関連費 5,000円、講師打合せ会場費 10,000円
		旅費交通費	107,000	学会:委員旅費70,000円、当日委員旅費7,000円、当日スタッフ旅費10名 5,000円 査読:委員旅費5,000円、次期学会:委員旅費20,000円
		需用費	193,000	学会:講師7名昼食7,000円、座長4名昼食4,000円 実行委員10名昼食10,000円、当日スタッフ10名昼食10,000円 役員・委員前日夕食10,000円、委員茶菓子代10,000円 ポスター・チラシ代10,000円、横断幕・懸垂幕など30,000円、賞状2枚12,000円 学会誌印刷製本 55,000円、インカム代25,000円、トロフィー2つ10,000円
		勉強会活動費	50,000	勉強会活動費・研修会支援費50,000円
		予備費	5,000	
教育部	362,000	事務用品費	10,000	臨床実習指導者講習:USBメモリー×5 MTDLP:文房具、ファイル等:5000円
		通信費	3,000	現職者共通研修:振込み料880円 現職者選択研修:振込手数料880円 臨床実習指導者講習:振込手数料385円
		報償費	202,000	現職者共通研修講師48,000円(6,000円×8名) 現職者選択研修講師24,000円(6,000円×4名) 事例報告指導30,000円(6,000円×5名) 臨床実習指導者講習:世話人謝礼金100,000円(10名)
		会議費	15,000	現職者共通および選択研修会:0円 臨床実習指導者研修会:0円 MTDLP:講師研修会打ち合わせ費(5,000円×3名)
		旅費交通費	47,000	現職者共通(講師)4,000円、事例報告2,500円 現職者共通(スタッフ)2,000円 現職者選択(講師)Web2,000円(500円×4名) 現職者選択(スタッフ):Web2,500円 臨床実習指導者研修:12,000円(10名) 教育部運営委員会:スタッフWeb日当12,000円(500円×6名×4回) 生涯教育制度推進会議(Web)参加:10,000円(2,500円×4)
		需用費	80,000	現職者選択:昼食講師0円、スタッフ3,000円(1,000円×3) 生涯教育制度推進会議(Web)弁当代:2,000円(1,000円×2) 臨床実習指導者研修:昼食代10,000円(10名) 臨床実習指導者研修:資料代30,000円(30名) MTDLP:委員食糧費:30,000円(昼食20,000円、夕食10,000円) 研修茶菓子:3,000円
		予備費	5,000	
		需用費	30,000	地域包括ケアに関するパンフレット200~300部作成
地域包括ケアシステム委員会	50,000	会議費	20,000	鳥取JRAT協力金
認知症・メンタルヘルスケア委員会	30,000	需用費	30,000	委員昼食・夕食15,000円(研修3回) 講師打ち合わせ会議費15,000円
		事務用品費	15,000	資料ファイル、印刷用紙代、USBメモリー
こども発達支援推進委員会	177,000	通信費	20,000	学校保育所へのOT派遣広報送代
		報償費	50,000	学校保育所へのOT派遣 日当:50,000円(5,000円×10回)
		会議費	68,000	定例会議44,000円(オンライン会議11回×8名×500円) 研修会打ち合わせ会議24,000円(オンライン会議6回×8名×500円)
		旅費交通費	9,000	県教育委員会訪問交通費:2,900円(1,200円×2名、500円×1名) 筋ジスキャン参加者交通費:6,000円(1,500円×4人)
		需用費	15,000	学校保育所へのOT派遣パンフレット作製印刷代
		事業活動支出計(B)	3,119,000	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	47,000			

